

(平成 30 年 4 月試験研究業務月報)

試験研究課題：磯根資源総合管理技術開発研究

研 究

宮津湾のナマコ資源量を調査しました

ナマコ漁が盛んな宮津湾では、漁業者が漁獲サイズや量の規制などの資源管理に取り組んでいます※。

4月12日にナマコの漁期が終了したことから、採り残されたナマコの資源量を推定するために、17日に漁業者と京都大学および当所が共同で漁期後の調査を実施しました。水深5～25mの約50ヶ所でナマコを採集し、数や大きさを調べたところ、昨年よりも大型の個体が数多く採集されました。今回の調査結果から、宮津湾のナマコ資源は良好な状態であり、来年の漁期を見据えた持続的な漁業が行われていることが分かりました。

今後も、データの収集・解析を進めて資源管理の効果を科学的に明らかにし、漁業者の取組を支援していきます。

※ 宮津なまこ組合の資源保護の取組は、第23回全国青年・女性漁業者交流大会（資源管理・資源増殖部門）において最高の賞である農林水産大臣賞を受賞しました。



採集されたナマコ



大型ナマコ（最大 1.4 kg）